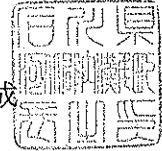




収内都建第134号  
平成19年4月23日

国土交通省道路局長 殿

内灘町長 八十出 泰 成



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について（回答）

このことについて、下記のとおり回答いたします。

#### 記

近年、人・物と広域交流の機会が増し自治体相互による連携・協力を強化する広域行政の推進が求められ、都市間アクセス道路の確保が重要な課題と考えております。

しかし、現下の厳しい財政事情の中で都市間を結ぶバイパス整備については、効率・効果が求められることからパブリックコメント等の住民参画による事業の進め方が重要と思われまます。

内灘町は加賀・能登地区の交通結節点として通過交通が大変多く、市街地内の既存道路は通勤・通学時間帯には交通渋滞等が発生し、良好な居住・沿道環境が損なわれており、交通弱者である子供・高齢者の安全・安心が十分確保できないのが現状であります。

現在、石川県で推進しています地域高規格道路金沢能登連絡道路の直線化事業はまさにバイパス整備であり、完成することにより交通流動が円滑化し沿道環境の改善が図られ、投資効果が発揮されるものと考えており当事業への予算の重点配分について、ご配慮願います。

また、厳しい財政状況下では新規の道路整備は難しく、今後は道路の維持管理の重要性が増し安全・安心な道路環境を提供するための予算の確保が必要と考えており、国においては財源の確保及び維持管理に対する助成制度の確立を要望いたします。

以上